

学 園 広 報

No.67 2018.7

学校法人 平和学園 神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
TEL 0467 (87) 0131

<主な内容>

- 平和学園の香り
- 幼・小・中・高の歩み
- 「思考力」を育てる
- 学校説明会等日程
- 平和学園の二十二年・法人だより

平和学園幼稚園・平和学園小学校
アレセイア湘南中学高等学校
<http://www.aletheia.ac.jp/>

「平和学園の香り」

学園長 所澤 保孝

五月初めのある朝、私はいつもより早く出勤しました。学園の駐車場に車を止めて外に出た途端、いつもとは違う、むせ返るような香りが駐車場に満ち溢れていました。最初はそれが何の香りかよく分からなかったのですが、しばらくして、それが私にとって、はるか昔の懐かしい香りであることに気づきました。幼い頃に近所の林の中で遊んでいた時に漂っていた木々の香りに似ていたのです。それはまた、若葉を引き抜いては、芯の白い部分を食べて遊んだクマザサの葉の香りのようにもありました。そうです、それは新緑の若葉の香りだったのです。今では周囲を住宅に囲まれてしまっている学園の駐車場に、新緑の若葉の香りが漂っていたのには驚かされました。香りと同時に、幼い頃の思い出が鮮明によみがえってきたことにも驚かされました。

香りなどとは無関係に生きてきた私は、香りの役割も気にしていませんでした。しかし、この時以来、香りと学習との関係について想いを馳せるようになりました。

科学的に言えば、匂いや香りは、人間の脳の大脳辺縁系にある扁桃体を刺激して、食欲や衝動、感情、気分を司り、私たちの行動をコントロールするものだそうです。また、人間の脳の中で重要な役割を果たしている前頭葉を活性化し、善さの追求、やる気、系統的に秩序立てて物事を考える、等の力を促進していると言われています。

人間には五感があって、五感全体を通じて学ぶことや五感を研ぎ澄ますための教育の重要性なども説かれています。しかし、原始時代の人類に比べると現代人の嗅覚は著しく劣っていると言われています。ということは、人類進化史の中で、嗅覚は等閑視されてきたといえるかもしれません。

日本の教育を振り返ってみますと、嗅覚に関する教育というのがあったらどうか甚だ疑問です。大げさに言えば、嗅覚を鍛えることは人類の存続に関わる根源的なことだと言えるでしょう。従って、「香り」は教育の中で、もっと取り上げてほしいのではないのでしょうか。

とは言え、香りには形がありません。はつきりと捉え難いものです。有形力も強制力も持ちません。しかし、存在し、固有のものを持っています、それが個々の特徴ともなっています。薬と同じように、私たちに決定的な重要な影響を与えています。香りは私たちの記憶を呼び起こすこと

ともしています。ところで、平和学園が長い間大切に守り育ててきた香りは何なのでしょう。それは新約聖書に示されている「キリストを知るとい知識の香り」(コリントの信徒への手紙Ⅱ 2章14節)だと思っています。平和学園の香りは平和学園のエトス(校風)であり、風土であり、伝統なのです。それは、聖書という原点から湧き出でて、人から人へと伝えられ大切に守られてきているものです。目には見えませんが、厳然と存在する平和学園の香りを、教職員から子どもたちへ、先輩たちから後輩たちへと伝えていきたいものです。

冒頭で、学園は今、住宅に囲まれて草花の香りなどは縁遠いと書きました。しかし、よく考えてみますと、グレーニア (Glehnia 浜防風) ダイアンサス (Dianthus 撫子) ロビンア (Robinia ニセアカシア) という※花の名前がつけられた建物に取り囲まれて学園生活を過ごしています。かつて、新しく建てられた建物にこれらの名前をつけた時、先人たちは、ここに集う人々がこれらの花の香りに包まれて、学園生活を送ってほしいと願っていたに違いありません。

香りが人間の行動をコントロールするものであるなら、「平和学園の香り」によって導き出される私たちの在り方があるはずです。その在り方を導くその香りこそが、今でも、平和学園が大切に守り伝えていきたい「香り」に他ならないのです。

※グレーニアホール＝小学校礼拝室
ダイアンサス＝校内宿泊施設
ロビンアホール＝中学校礼拝室

聖書の言葉

導いてくださる神

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

テサロニケ第一・五章十六節〜十八節

今から四十年以上も前のことです。茨城の高校を卒業して、東京に行く時に、自分が所属していた教会の牧師が、私に一冊の聖書をくださいました。その聖書の中に書いてくださったのが、冒頭の聖書の箇所です。

牧師は、どのような気持ちで、この箇所を書いてくださったのか、時々考えるのです。

当時の私は決して、希望に満ちた状況ではありませんでした。喜ぶことができない。感謝することができない日々でした。

その後、牧師になるために大学に通い、三つの教会で奉仕し、そして今ではこの平和学園で教師として働いています。

今まで、いろいろなことがありました。でも、振り返ってみると、神は共にいてくださいました。どのような時でも神は私を守り導いてくださったのです。今、子ども達に聖書を伝えるという、かけがえのない大切な働きをすることができています。

牧師は私にどのような時も神と共にいて守ってくださいと、この聖書の言葉を通して私に伝えてくださったのでしよう。

今度は、私が子ども達に、神があなたと共にいてくださり守り導いてくださることを伝えていきたいです。

(学園宗教主任 横山 厚志)

平和学園幼稚園・小学校

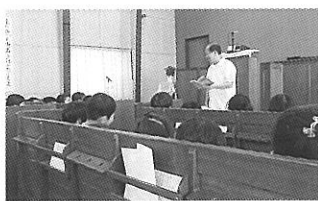
幼稚園

お誕生日会

幼稚園では、お誕生日会を毎月保護者の方と共にしています。

お誕生日会には、当月の子どもたちが携わるだけでなく、翌月が誕生日の子どもたちがプレゼント作りをしています。今年度は、この翌月の子どもたちが平和教会へ出向いて、大澤牧師からいのちの大切さや生まれてきてくれたことへの感謝の気持ちを話していただいています。

お話を聞いて、ある女の子は「幼稚園に戻ったらお友達にぎゅってしよう」と言いました。帰りのバスの中では、「どうやってプレゼントを渡そうか」「プレゼントがあることは内緒にしないとね」などという子どもたちの会話も聞こえてきます。



日について考えることのできる素敵な時間になっています。

さて、当月の子どもたちは、という、お誕生日会で出し物を行います。ここまで大きく育ててくれたおうちの人に、何か楽しいことをしたい、そんな子どもたちの気持ちから活動が始まります。ダンスや劇、マジックなど子どもたちからたくさん考えが出てきます。出てきたその日から、本番に向けて毎日集まり、練習を重ねていきます。その中で、ここはどうしたらいいだろうと話し合ったり、こんなこともしてみたいと新しい意見も加わったりします。

短い期間ですが、そこには一つのもの子どもたちと教師が力を合わせて一生懸命作り上げていく姿があります。

お誕生日会を終えるごとに、子どもたちがおうちの人のために取り組む姿、また、子どもたちからアイデアを引き出し、一緒に作り上げていく先生方の力に毎回驚かされ、こみ上げてくるものがあります。

みんなの思いがたくさん詰まったお誕生日会を、子どもたちも私たち教師も楽しみにしています。

(教諭 桐山 花菜)

避難訓練

「生命を守る」

七年前の東日本大震災の時、園舎には二便バスで帰る子どもたちが十数人、バスの到着を待っていた。そこへあの大きな揺れが。私達保育者も誰一人経験したことのない現実の中思ったのは「子どもたちを守らなければ」「園庭のまん中で園児を囲み、抱いていたが、子どもたちは誰一人泣いたり騒いだりせずに「大丈夫だよ、先生たちが一緒にいるからね。」という声を聞いてくれた。

この経験が、私たちにもう一度、災害を身近なこととして常に考えておくべきという思いにさせてくれた。子どもたちの生命を守ることには大人の責務。しかし、子ども自身も自分で判断し、考えて行動できるスキルを身につけること、命に関わる決断は、自分で下すしかなく、生き抜く力をつける必要性



があると痛感した。

そこで、ありきたりの避難訓練をしてはいけけない、保育者も子どもも、自分で考えて動くということを重ねた訓練を行うことにした。具体的には、訓練当日、火災、地震、津波など何を想定するのか、何時に行うかは担当者しか知らず、細かな打ち合わせは行わないというものだ。

保育者自身が子どもの生命を守るためにどうすべきかということと同時に判断して行動することが問われる。

一方、週一度の絵本の貸し出し時に四号館の階段を昇り降りしていることも、日頃から自分の足で階段を歩く練習となっている。

神様から一人ひとりに与えられた大切な生命を自分で守り、互いに隣人の生命も守るということを、子どもも保育者も保護者も共に考えながらすすめていくべきでありたい。

(教諭 河窪 悦子)

小学校

平和学園小学校の「命の学習」

一人の人間が、この世に生まれてくる確率は奇跡的です。自分がいかに望まれて生まれてきたのか、大切に育てられてきたのかを、今の時代を生きる子どもたちにとってほしいと願いながら、小学校では「命の学習」をしています。

第二次性徴期をむかえる四年生は、他学年よりも時間をかけて学びます。

学習内容としては、助産婦の方に妊娠、出産の話の聴いたり、妊婦さんのお腹の赤ちゃんの心音を聞いたり、妊婦体験をしたり、自分の親から手紙をもらったりという体験が主なものです。命を与える側になるために自分が、命を与える側になるために体が成長していく仕組みも学びます。教科書には載っていない、受精につ



いても踏み込んで話をしています。少人数の学校で普段から教師と子どもの信頼関係があるからこそ、展開できる授業内容です。

「命の学習」

で、最も伝えたいことは、「あなたの命はとても尊くかけがえのないものである」ということです。「だからこそ、体の仕組みをよく知って、自分の体を大切にしたい。自分を大切にすると同じように、周りの人のことも大切にしたい。」と、伝えていきます。命(神さまと両親からの愛)を大切にすること、隣人を愛することは、キリスト教の教えからくる精神です。平和学園小学校がキリスト教主義の学校だからこそできる教育だと言えます。

四年生は、異性への意識が低く、照れや羞恥力に流されることがないので命の素晴らしさや、神さまと両親への感謝を素直に感じることができます。

命の尊さを重んじる子どもの育成は、創立者から受け継いでいる願いでもあり、これからも力を入れていきたいものです。

(養護教諭 水野 愛弓)

お話会

「ろうそくパッ!もひとつパッ!これから始まる。お話会。」

語り部の先生が、お話会が始まるの手遊びを始める、子どもたちの口と指が恥ずかしそうに動きます。友だちと目を合わせ、照れ笑いをしながら、この手遊びをきっかけに、子どもたちはゆつくりとお話の世界に足を踏み入れていきます。小学生

の表情から、「子ども」の表情へと変わっていく瞬間です。

平和学園小学校では、毎週火曜日に「お話会」を1学年ごとに行っています。語り部の先生をお招きし、本や素話、パネルシアターなどを通じてお話の世界を楽しませていただいています。元々、読書好きの子どもたちが多い平和学園小学校の子どもたちが新たな本と出会う場でもあります。おはなしの「ろうそく」に火が灯ってから、消えるまでの40分間、子どもたちの心はおはなしの中へ。みんなで声を合わせて笑うこと。おはなしの主人公が出会うピンチに息をのむこと。与えられる難題に頭を抱えること。この時間の中では実生活で出会うことがない、または想像しがたい場面に遭遇することがあります。



こういふことが起きたときには、どうしたらいいんだろう?自分だったらなんて言うだろう?想像力をフル回転させて過ごす時間を通して、子どもたちの心は耕されていきます。

絵本を読んでもらうこと、おはなしを聞かせてもらうこと。実用的なものや、効率的なものばかりが求められる今の時代において、そんなことが必要なのかという疑問があるかもしれません。必要なんです。私たちは確信しています。想像力を磨き、おはなしを通じて他者や異文化(外国の民話などもたくさん聞きます)を理解する。小さな小さな積み重ねが平和を生みだす子どもたちを育んでいきます。

(教諭 小湊 将之)

アレセイア湘南中学高等学校

中学修養会

経験を通して

中2A

私は今回の修養会を通して、イエス様の愛、リーダーの責任、そして後輩の面倒を見ることの大変さを学びました。

「出会いイイエス様ってどんな人？」という主題について、1年生との縦割りのグループで話し合いをしました。横山先生の主題講演では見失った羊のたとえ話を聞いたり、「たいせつなきみ」というDVDを観たりしたので、それらについての感想などをとに、話し合いをすすめました。班長の私は、少し緊張してしまつて最初のグループの時間は思うようにできませんでした。しかし、みんなの意見や考えを聞いていくうちに、班のみんなのことが分かってくるので、予定の時間より早く班の考えをまとめることができました。私たちの班は、「イエス様は正しい道を教えてくれて、一人ひとりを導いてくれる方」という結論になりました。私たちは決して一人ではなく、いつもそばにイエス様がいてくださっていて、そしていつも私たちの正しい道に導いてくださっているのだと思います。



2年生になり、今回私は実行委員と班長をやりました。どちらも大変で責任のある仕事なので、失敗しないよう頑張りました。

高1修養会

「出会い」の意味

高1C

私は修養会に行くまで、「出会い」というテーマで何を学ぶのだろうかと思っていました。もうクラスの友達や部活の仲間、色々な人達との交流もあるのに、なぜこのテーマで修養会に行くのかと正直疑問を持っていました。

その疑問の答えの一つとなったのが「語らいのタペ」でした。先生方の色々な出会いの話を聞いて、出会いとは人との関係の始まりだけではなく、その出会いを通して自分を成長させてくれる大きなチャンスであると学ぶことができました。出会いには時に嫌な思い出たとしても、自分でもありましたが、その出会いを自分ごとで捉えて今後の自分にとって大切な糧であるということも学ぶことができました。

また、私の疑問に対する最も適切な答えとなったのが菊池先生の主題講演でした。人格的な出会いとは人をイメージだけで判断するのではなく、その人の本当の姿を見ることです。また、私たちは「お互いに完璧ではないけれど大切な存在」であるということです。この話を聞いて、私は出会いとは、色々な人達と自分の弱みや苦しみを、本当の姿をお互いに知って共有し合い、人を愛する、愛されるということを経験できる素晴らしい機会であることを学びました。私は「出会い」という言葉にこんなに深い意味が込められているとは思いませんでした。



今年度の体育祭本部の活動は、昨年度に先輩方が立ち上げた実行委員会から始まっています。私はその時から携わってきました。昨年度は白紙の状態からのスタートだったため、競技を決めることで精一杯でした。

体育祭

高3A



今日、修養会の「出会い」というテーマは、とても考えさせられる良いテーマであつたと思います。私はこの修養会でたくさんのことを学び、自分の疑問に対する答えを修養会を通して自分なりに導き出すことができました。そして、この修養会との出会いもまた自分自身を成長させる大きなチャンスになったと強く思います。

体育祭の直前が中間試験だったこともあり、応援団の準備期間は短かったのですが、どの組も完成度の高いパフォーマンスで、各組の団結力だけなく、学校全体の一体感を感じることが出来ました。これこそ、本部役員が目指していたものでした。また、多くの人から「最高に楽しかった」という声も聞き、胸が熱くなりました。

しかし、これは第一歩にすぎません。来年はこれを土台としてさらに良いものを作っていけると確信しています。後輩の皆さんがこのバトンを受け取って次の代へと引継いでいけることを願っています。

2017年度 進路状況

2018年3月、218名が高校を卒業した。進路先としては四年制大学へ142名、短期大学へ9名、専門学校へ32名が進学し、就職者は4名であった。合格先を紹介する。

国公立大学
北海道 横浜国立 滋賀 神奈川県立保健福祉

私立大学

慶應義塾 早稲田 東京理科大学 国際基督教大学 立教 青山学院 法政 同志社 明治 東京女子 聖路加国際 明治学院 国学院 芝浦工業 日本 東洋 駒澤 専修 北里 東京農業 東京電機 日本赤十字看護 麻布 日本体育 国際医療福祉 獨協 玉川 フェリス学院 昭和 女子 栄光 大妻女子 東洋英和女学院 二松學舎 日本社会事業 文教 亜細亜 国士館 杏林 神田外国語 神奈川 日本獣医生命科学 科学 桜美林 東海 帝京 帝京科学 湘南平 横浜薬科 立正 大正 大東文化 関東南 産業能率 酪農学園 明星 東京成徳 東京経済 東京工芸 東京神学 鎌倉女子 相模女子 駒澤女子 恵泉女子 鎌倉女子 神奈川工科大学 多摩 鶴見 杉野服飾 桐蔭横浜 横浜美術 白百合 和洋女子 富士 洗足学園音楽 昭和音楽 尚美学園 高千穂 皇學館 松蔭 埼玉工業 名古屋経済 四日市 東北芸術工科大学 札幌 北星学園 北海学園 北海商科 海外の大学
バークリー音楽 グリーンビル テンプル 短期大学
青山学院女子 國學院大学北海道 國學院大学栃木 帝京 鎌倉女子大学 相模女子大学 湘北 戸板女子 専門学校
ビジュナリーアーツ 横浜fカレッジ 横浜YMCA学院 横浜テクノオースト 横浜リゾート&スポーツ 横浜医療秘書科助手 茅ヶ崎リハビリテーション 茅ヶ崎看護 首都医療 青山製菓 東京IT会計法律 東京医療学院 東京調理製菓 東放学院 藤沢市立看護 日本外国語 日本工学院 日本工学院八王子 服部栄養 文化服装学院
就職
プロサーファー ストラヴィバリス・ジャパン Hans Von Frau Kurosawa 神奈川県警察官 (学習・進路部長 市川 賢司)

幼小中高一貫グローバル教育カリキュラム

「思考力」を育てる

「いつでも、どこでも、誰とでも、協力できる社会」をつくる人を育てることが、本学園のグローバル教育カリキュラムの目標の一つです。そのためには、「言語力」「たくましさ」「思考力」が大切です。

「思考力」は、人との関わりを通して養われるものです。グローバル教育カリキュラムでは、体験や、ワークシヨップなど、この力を伸ばすための学習活動の様々な機会を設けています。今回は、「思考力」を育てる学習の取り組みの一部を紹介しします。

幼稚園

「寄り添うこと」が育む思考力

春の年長児には「年少さんのお世話」という大きな役割があります。バスを降りてから年少さんの部屋まで連れて行き、朝の仕度を手伝い、帰る前には部屋の片付け、帰り支度も全て手伝います。

涙を流す小さな子の手を取って、そっと寄り添う年長児。どうやったら泣き止むのだろうと懸命に考え、遊びに誘ったり、外へ連れ出したり、「ママはもうすぐくるから、だいじようぶだよ」と話しかけたり、2時間の保育時間、小さな手を握り続け、5歳児なりに精一杯心を働かせます。



貸出し文庫へ行く時、遠足の前には歩く練習に出かける時も年長児が年少児と手をつなぎます。素直に手をつないでくれる子ばかりではありません。

せん。どこに行くのかわからなくて不安な年少児に手を振り払われると追いかけて、鼻を拭いた手をつながれてもぐつと我慢し部屋でそっと手を洗ったしながら自分たちは幼稚園で一番大きいのだからと自分に言い聞かせ、まずは小さい子のことを先に考えて行動しています。

教師は決して「こうしてね」とは言いません。子ども達はこれまでの幼稚園生活の積み重ねで自分たちがたつぷり受容されたからこそ、年少児のありのままを受容し、必要な手助けをすることができるとのことです。

毎日の保育の中では、子ども同士が仲間の気持ちを理解し心から寄り添う姿に大人が教えられることもあります。こうした日々の経験こそが、「思考力」を育みます。多様性を受容するために自分ができることを子どもたちが「考える」ことがというグローバル精神として成長していく心の根っこを育てているのです。

(教諭 一色 里絵)

小学校

卒業論文の取り組み

平和学園小学校の六年生は、一年間かけて卒業論文を書き上げます。自分の趣味や関心に沿ったテーマを一人ひとりが選び、十枚から五十枚程度の論文にまとめるのです。

歴史、動植物、スポーツ、体、交通、食べ物と、多岐にわたる分野から個性的なテーマが並びます。年度途中には中間発表会なども行い、教師や友達などの意見を聞き、自分だけの考えにとどめることなく、視野を広げ、テーマを掘り下げていきます。調べるにあたり、本やインターネットを活用しますが、それらを丸写しにはしません。



自分なりの切り口、想い、考えが自分の言葉でまとめられていきます。大人も知らないこと、大学生でも書けるかと思うようなこともたくさんあり、「これだけのものを書き上げるパワー」や「これを伝えたい」というエネルギーを感じることができま。

また、この卒業論文は書いてまとめるだけでは終われません。三月に行われる「学習発表会」でブースを構えます。読んでくださった方やブースに来てくださった方にどのようなしたら自分の思いが伝えられるのかを考えます。体験型にするのか、クイズ形式にするのか、展示物を用意するのかなどどうしたら、自分の卒業論文をより理解してもらえるのか、多角的に考え、工夫して実行していきます。ここに、「思考力が育つ」場面があります。

勿論、それは切り取られた一時的なものではなく、一年間という長い取り組みだからこそ生かされるものでもあります。思いを伝え、書き上げるために言葉を選び、力、すなわち言語力を培い、これら全体を粘り強く取り組み、ことごと身につくたくましさ。小学校の卒業論文の取り組みは、本学園のグローバル教育カリキュラムの実践を集約したものと言えるでしょう。

(教諭 佐藤 重人)

中学校

自分の問題として受け止めること

中学一年生の総合学習では、「平和をつくるためにできること」をテーマに、一年間かけてグループ学習を中心に展開しています。テーマに関する資料を集め、それらの情報から自分たちが何ができるかを考えることで、問題

を自分のこととして受け止め主体的に考える思考力を育てることを目標としています。

校外学習では横浜の「あーすぶらぎ」を訪問したり、広島で被爆した方の体験談を聞かせていただいたりと、想像を絶する生々しい戦争の実態を見聞きする機会があります。今まで知ることのなかった戦争の歴史や世界の国々についての知識を蓄えることで、思考の基盤を培います。

客観的な意見を集めるために、校外の人を対象とした平和に関するアンケートも実施します。「戦争を終らせるために武力を行使することがあってもよいのか」「人を傷つけるのを避けるために嘘をつくことは良いことか」など、簡単に答えられないような質問もありました。予想していたことと異なる結果



が出た班もあり、なぜそうだったかと更に考えを巡らせていました。

総合学習では、最後に必ず新聞やパワポイント、模造紙などを使ってまとめる発表を行います。「平和を作るためにできること」として、LINEでのいじめをなくす、思いやりを持つ、いつも笑顔でいる、など身近なことから始めるのが大切だという結論にたどり着いたようでした。

これからも、直面する様々な課題に対して「自分たちには何ができるのか」ということを常に考えられる人に育って欲しいと願っています。

(教諭 渡部菜都未)

高等学校

グローバル 이슈に目を向ける

高校では、三年間かけて世界を知るといふプログラムを実施しています。校外での外国人インタビュー。事前

に予約するという学習を含めたNGO訪問。これらの活動を通して、世界を「知る」ことから「考える」ことへと発展させていきます。例えば、一枚のTシャツのコットンから児童労働問題を考える。考えたことをまとめ、発表する、ということ積み重ねていきます。特に、三年生では集大成として、世界の諸問題について、各自が提言をまとめることを目標にしています。一・二年生での活動を踏まえて、世界を俯瞰して問題を見つけ、自分なりの解決策を考えるのです。

一例を紹介しますと、国連サミットで採択された国際目標SDGs(持続可能な開発目標)をヒントにしながら、世界の課題の中から一つに焦点を絞り込み、自分なりの考えや、今の自分に出来ることは何かを「提言」としてまとめます。



今、三年生はそのレポートをクラスメイトの前でプレゼンするための準備をしています。どのように表現すれば自分の思いや考えが伝わるのか、模索している最中です。二年生までは常に数人のグループで同じ課題を共有して発表しますが、三年生になると、すべてを一人で行います。

世界を知ることとは、自分の普段の生活から離れた問題に目を向けることであり、思考の幅を広げることになります。それは、日本だけでなく世界の様々な人々のことを考えて行動できるようにする契機になります。

このカリキュラムを通して、生徒たちが、誰かの役に立ちたいと考え、世界の人々のことを視野に入れて行動できる人に育ってほしいと願っています。

(教諭 見目 春菜)

2019年度入園・入学志願者への説明会等日程

育てます!!「世界平和に貢献できる人」

幼小中高一貫グローバル教育カリキュラムを実施

*** キリスト教に基づく教育の中で ***

平和学園幼稚園

- ・ 保育見学（要予約） 10:15～11:15

9月10日～10月24日の

月曜日・火曜日・水曜日に実施予定

1日5組までとさせていただきます。

詳しくはホームページを御覧ください。

- ・ 入園説明会（予約不要）

9月19日（水） 10月20日（土） 10月24日（水）

※ 詳細は後日ホームページにてご確認ください。

<http://www.aletheia.ac.jp/k/>

平和学園小学校

- ・ 小学校体験 7月14日（土）10:00～11:30
- ・ イブニング学校説明会 7月27日（金）18:30～19:30
- ・ 平和をともに 9月21日（金）8:40～10:30
- ・ 平和をともに
& オープンスクール 9月22日（土）8:40～12:30
- ・ 学校説明会 9月22日（土）11:30～12:30
- ・ 学芸会 10月27日（土）8:40～12:30
- ・ バザー 11月 3日（土）11:00～13:00（予定）
- ・ 学校説明会 & 学校案内 1月31日（木）10:00～12:00
- ・ 学習発表会 3月 6日（水）10:00～12:00
- ・ 学校説明会 3月 6日（水）12:00～13:00
- ・ 小学校で遊んでみよう 3月25日（月）14:00～15:00

※ 詳細はホームページでご確認ください。

<http://www.aletheia.ac.jp/s/>

アレセア湘南中学校

アレセア湘南中学校受験をご検討される方は、
ホームページでご登録ください。 <http://www.aletheia.ac.jp/jr/>

- ・ 学校説明会＜ホームページ申込み＞

第1回 7月14日（土）10:00～11:30

第2回 9月27日（木）10:00～11:30

第3回 10月27日（土）10:00～11:30

第4回 11月10日（土）10:00～11:30

第5回 1月12日（土）10:00～11:30

スクールバスが
辻堂駅南口より出ます

第1回～第5回
各日とも 9:20 9:40

- ・ 学校体験＜ホームページ申込み＞

10月27日（土） 10:00～12:00

辻堂駅南口 9:20 9:40

- ・ 入試体験＜ホームページ申込み＞

11月10日（土） 10:00～12:30

辻堂駅南口 9:20 9:40

- ・ スクールガイド＜ホームページ申込み＞（学校見学・個別相談）

8月22日（水） 12月 8日（土） 1月19日（土）

各日 10:00・11:00 各回8組まで

- ・ スクールガイド＜ホームページ申込み＞（授業参観・学校見学）

10月 9日（火） 10月10日（水） 10:00

- ・ 平和祭＜事前申込み不要＞

9月15日（土） 9:30～14:30

11:00～14:30 個別相談コーナー

アレセア湘南高等学校

アレセア湘南高等学校受験をご検討される方は、
ホームページでご登録ください。 <http://www.aletheia.ac.jp/h/>

- ・ 学校説明会＜ホームページ申込み＞

第1回 10月20日（土） 10:00～ 14:00～

第2回 11月 3日（土） 14:00～

第3回 11月17日（土） 10:00～ 14:00～

第4回 11月24日（土） 10:00～ 14:00～

※募集要項・志願書は、学校説明会の際にお配りいたします。

- ・ 夏休みキャンパスガイド＜ホームページ申込み＞（学校見学）

7月21日（土）・23日（月）・24日（火）

8月23日（木）・24日（金）・25日（土）（各日10:00～14:00）

- ・ 平和祭キャンパスガイド＜ホームページ申込み＞

（学校見学・入試相談コーナー開設）

9月15日（土） 9:45

- ・ キャンパスガイド＜ホームページ申込み＞（学校見学会）

10月 9日（火）・10月10日（水） 10:00（授業参観）

12月 1日（土）10:00・12月 8日（土）14:00（学校見学・個別相談）

- ・ 放課後 個別入試相談会＜ホームページ申込み＞

（個別相談・学校見学可）

12月18日（火） 16:00～17:00

問い合わせ先 電話番号

平和学園幼稚園 0467-87-1661

平和学園小学校 0467-87-1662

アレセア湘南中学校 0467-87-7760

アレセア湘南高等学校 0467-87-0132

学校法人平和学園 0467-87-0131

ホームページもご覧ください。（検索：各学校名）



平和学園の二十二年

吉見 京子

二十二年前の春、平和学園小学校のあのゆるやかな階段に、長女は迎えられました。翌年長男が入学。時は流れこの春、次男の高校卒業を最後に、私たち家族は平和学園生活に別れを告げたのです。

思い返せば、移ろい生まれ変わる「時」に居合わせた二十二年。「平和学園の思い」と共に歩ませていただいた二十二年でした。

小学校フアミリー運動会の大旗リレー。一年生から六年生へと受け渡されてゆくあの大きな旗が、文字通りその成長につれ、しっかりと揺るぎないものになるのです。懸命に走る姿には何度涙したことでしょう。

長女の中学進学に合わせるかのようにアレセイアの中高一貫教育は誕生。大好きな平和学園での生活が続くことは私たち家族の大きな喜びでした。

セーラーカラーは初々しく、新しい友との出会いは広がります。学習指導や海外研修など、初めての取り組みは希望の中に始まりました。そして、その高まる期待を一身に受け止め、応えようとしてくださる先生方。そのひたむきな姿には平和学園への愛情が確かに息づいていました。生まれ変わるだけでなく「変わらないうこと」の大切さをも教えてくれたのだと感じています。

二十二年間の毎朝の礼拝は与えられた大切な時間。中高の讃美歌コンクールも、平和学園であることの証しのように美しい讃美が歌い継がれています。御言葉は当たり前のようにいつも近くにあったのです。

そして何より、二十二年前の小学

校入学からこの春の高校卒業まで、ずっと見守り続けてくださった先生方もいらつしやるということ。

人も時も思いも、すべてが平和学園の宝物。ずっと続いていく「変わらないもの」です。

あふれる好奇心も華奢な感性も摘まれることなく、信じることを探る心が大切に守り育まれた二十二年。平和学園に神様の祝福を。

吉見さんは、一九九五年四月、ご長女の小学校入学から、二〇一八年三月、ご次男の高校卒業までの二十二年間、途切れることなく、三人のお子様の保護者として学園を支えてくださいました。心より感謝申し上げます。

世界を変えた人

小学6年

「世界を変えた人」について、「サーロー節子さん」を調べました。サーローさんは13歳の夏、広島で被爆しました。大学卒業後、社会福祉を学ぶためアメリカへ留学。この年、アメリカは太平洋のビキニ環礁で大規模な水爆実験を実施。「サーローさんは被爆者として取材を受け、「とんでもないことが起きている。アメリカはすぐに実験をやめるべきだ。」と正直に答えました。するとたくさん批判を浴びることになり、「被爆の『ひ』の字も使わないように口にジッパーをかけてしまおうか。」と自問しました。しかし、「私が発言しなかったら原爆がどんなものか伝える人がいなくなる」と思い、伝え続けます。「立場を超えて、命の大切さを分かち合う」「それぞれが持つ歴史や文化の違いを超えて分かりあう」このために必要なことは、「異なる意見に耳を傾け続

けること」サーローさんが見つけた答えです。

昨年7月、「核兵器禁止条約」が採択されました。条約交渉の中で、サーローさんは4分間のスピーチを依頼され、「私はこの日を70年待ち続けていました。そして、ついにこの日を迎えることができ、胸が一杯です。これは、核兵器の終わりの始まりです。私たちは未来の命を危険にさらしません。世界中の指導者の皆さん、心からお願ひがあります。あなたがこの地球を愛しているなら、この条約に署名してください。一緒に前へ進み、世界を変えましょう。」各国の代表の心に響きました。原爆投下から72年。サーローさんは今も世界各国で、語りかけています。

平和学園の創立者の一人、村島先生の言葉に「他人の不幸を笑わない」があります。先生は、他人の不幸を笑わず、どのような人になってもほしいと願ったのでしょうか。話し合いの中で、「他人の不幸を支える、助ける、一緒に頑張る、寄り添う」という意見が出ました。サーローさんは「みんなと一緒に進む、分かち合う」ということを大切にしていました。私たちの話し合いでも「不幸の中、自分ではどうすることもできない人を支え、寄り添うことが平和へつながる」という結論になりました。

2017年9月23日
「平和とともに」礼拝要約

法人だより

2018年2月～5月

人事・報告

I 役員・評議員

・18年3月31日付退任

評議員 大澤 秀夫

評議員 西野 努

評議員 細矢真由美

・18年5月31日付退任

理事 大澤 秀夫

・18年4月1日付就任

8号評議員 帆 苺 猛

8号評議員 藤本 朝巳

・18年6月1日付就任

4号理事 帆 苺 猛

4号理事 藤本 朝巳

4号評議員 高岸 博康

II 教職員

・18年3月31日付退任(専任)

中高教諭 小田島 誠

小学校教諭 白屋 幸

・18年4月1日付就任(専任)

中高教諭 丸山正二郎

” 藤井由紀子

” 岩永麻衣子

” 渡部菜都未

” 桑原 繭子

III 教職員人数

	教員	講師	職員	計
高 校	58	29	7	94
中学校	13	9	1	23
小学校	14	11	3	28
幼稚園	85	49	11	145

(2018年5月1日現在)

IV 生徒児童園児在籍数

	女子	男子	計
高 校	416	308	724
中学校	59	63	122
小学校	44	36	80
幼稚園	106	100	206
計	625	507	1132

(2018年5月1日現在)

V 行事

・学園新任研修 4月2日 4月10日

・創立72周年記念礼拝 4月26日

・平和学園パイプオルガン講座 2月24日 5月12日

VI 会議

・理事会 3月22日 5月24日

・常任理事会 2月21日 4月19日

・評議員会 3月22日 5月24日

VII 諸団体

・校友会主催) 5月19日

・ジャズコンサート 5月19日

VIII 施設設備環境関係

・センターホール 4月

・非常放送架更新工事 4月

・1号館無線LAN設備敷設 4月

・幼小工作室防水工事 4月

・グレーニアホール防水工事 4月

・4号館2階トイレ改修 5月

